

ゾーニングについて

文化財保全ゾーン	貝塚、住居跡、遺構等が存在し整備の主体となるゾーン。
1 A 生産ゾーン	大型の炉跡や煮沸用土器の出土から、干し貝生産の場。貝層断面観察施設あり。
B 生活ゾーン	13軒の竪穴式住居が検出されている東傾斜面一帯が生活の場であった。復原住居群が整備されている。
C 交通ゾーン	坂月川に岬状に突出している箇所の近辺から丸木舟らしきものが発見されている。舟着場。
D 埋葬ゾーン	貝層の中に人や犬が多数埋葬されている。
E 祭祀ゾーン	大型建物跡に石棒や特殊異形台付土器が出土している。
2 緑地ゾーン1	南側の谷の自然地形を主とした樹林保全ゾーン。枯れているが以前は湧水地点あり。
3 緑地ゾーン2	貝層に隣接し縄文時代の植生復原したゾーン。
4 緑地ゾーン3	博物館に隣接し、公園として利用されているゾーン。
5 水系ゾーン	坂月川に隣接するゾーン。水面や湿地性の植生などの修景が必要。
6 施設ゾーン	博物館、駐車場などが配置されているゾーン。将来的には用地外へ移転が必要か。

(* 南貝塚環境整備実施設計に基づく)



見学のモデルコース

